

夢の卵🐣育成事業

この事業は、ノーベル物理学賞を受賞された故 小柴昌俊さんの「子どもたちには『夢の卵』を持ち続けてほしい」とのメッセージにちなんで企画しました。子どもたちに「いくつもの『夢の卵』をもってもらうこと」、「『夢の卵』を温めてもらうこと」、そして「『夢の卵』を孵すこと」を支援し、自分の将来を考えてもらうきっかけづくりをねらいとして、平成16（2004）年度から実施しており、今年で21回目となりました。

4月中旬から5月にかけて、県内の小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象に、「将来の夢（＝夢の卵）」を書いた作文を募集し、その中から選んだ4名の児童生徒が、各分野の専門家に短期入門をしました。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、それ以外の秀でた作品を佳作として表彰しています。

小学生の部（応募数340作品）

生産と環境の持続可能な農業を行うハイテク米農家になりたい

小竹 源真 さん（高岡市立高陵小学校5年）

米農家の担い手不足に注目し、AIロボット利用による生産の持続や、農薬を減らした農業を行う米農家になりたいとスマート農業普及センターに入門。スマート農業に関する講義やスマート農機の見学と体験を行いました。

体験記より

ぼくは、お米が大好きなので、お米が国外お取り寄せの最高級の食べ物になったらいいやだから、田んぼは減らさないでほしい、と思います。そこで、こういった技術があることで、農業が大変でしかも毎年収入が変わる仕事から、ラクで毎年安定して収入を得られる仕事になるとよいなと思いました。



スマート農業についての講義



ロボット田植え機の試乗



射水神社増築工事の見学



木材の加工体験

歴史を守る宮大工になりたい

塚口 あかり さん（小矢部市立石動小学校5年）

歴史的建造物の建物だけでなくその歴史を知り、過去を未来につなぎたいという思いから宮大工になりたいと舟木工匠に入門。神社増築現場と勝興寺の見学、宮大工と文化財修理について学び、木材加工体験をしました。

体験記より

短期入門を通して、宮大工になるためには、カンナやノミをじょうずに使えるだけでなく、いろいろな勉強をがんばっていく必要があると思いました。勉強の他にも、学校や生活の中での様々な経験が宮大工になるために役立つのではないかと思います。私は、これからどんなことにも挑戦して、いつか必ず宮大工になりたいです。



- ① サッカー選手
- ② 医師
- ③ イラストレーター
- ④ 建築関係
- ⑤ 学者・研究者、野球選手



令和7年度 夢の卵表彰式

<令和7年度の入賞者数>

小学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 16名
 中学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 12名

中学生の部（応募数576作品）

動物に役立てる人になりたい

真野 来実 さん（射水市立小杉中学校1年）

自身の体験から、動物の思っていることがわかる翻訳アプリを開発し、動物の医療や飼い主の手助けをしたいと千葉大学文学部に入門。動物心理学についての講義や行動分析の実習と実験を行いました。



動物心理学についての講義

体験記より

短期入門で動物心理学という学問に触れ、ますます興味が増しました。この貴重な体験を今後の勉強や生活に活かしたいです。そして、飼い主さんや動物医療など様々なことに役立てられるよう、模索していきたいと思います。



行動分析の実習



地震についての講義

誰かの未来のために尽くせる
地震学者になりたい

田邊 花妃 さん（射水市立射北中学校1年）

能登半島地震の経験から人のために何が出来るかを具体的に考え、地震学者となって安心して過ごせる世界を作りたいと名古屋大学減災連携研究センターに入門。減災館の見学や地震について深く学びました。



減災館の見学

体験記より

入門を通して、改めて地震学者になりたいと思いました。私は地震の死因で多い圧死と溺死を防ぎたいと考えています。そのために今まで以上に地震について勉強したり、地震が発生したときに自分ができることを考えてそれを行動したりすることを意識したいです。